

芸術科 H22 (音楽) シラバス		2 単位 普通科 第2学年 1～4組
年間の到達目標	歌唱を楽しむ心を培う。 合奏を通して読譜力を身につけ、演奏経験を積む。 音楽映画鑑賞をすることにより、音楽的感性を豊かにし、知識を深める。	
教科書・副教材等	教出 音楽 改訂版 Tutti	
学期	学習内容	学習のねらい
4	歌唱 トーンチャイムのアンサンブル 映画鑑賞	英語による歌唱表現の自然さを体験する。 トーンチャイム合奏の楽しさを味わう。 ミュージカル映画の楽しさを味わう。
5	歌唱 トーンチャイムのアンサンブル 映画鑑賞	モーツァルトを研究することにより、鍵盤楽器に興味を持つ。 トーンチャイム合奏の楽しさを味わう。 ミュージカル映画の楽しさを味わう。
中間考查範囲		中間考查は行わない
6	歌唱 映画鑑賞 トーンチャイムのアンサンブル	歌曲の表現の深さを理解する。 トーンチャイム合奏の楽しさを味わう。 ミュージカル映画の楽しさを味わう。
7	トーンチャイムのグループ合奏 歌唱テスト	班協力して行う器楽合奏の楽しさを味わう。
期末考查範囲		歌唱、器楽の1学期に習ったものの中から実技テストを行う
〔備考〕音楽の基礎力を元に、2年時の音楽を楽しく学習できるようにする。		
9	日本歌曲の歌唱 映画鑑賞 キーボードの基礎	北海道の歌のもつ繊細さを体感する。 鍵盤楽器の基礎を身に付ける。
10	日本歌曲の歌唱 映画鑑賞 キーボードの基礎	北海道の歌のもつ繊細さを体感する。 井上陽水の「夢の中へ」を弾きキーボードの魅力に触れる。
中間考查範囲		中間考查は行わない
11	日本歌曲の歌唱 映画鑑賞 キーボードの合奏	ミュージカルの楽しさを知る。 井上陽水の「夢の中へ」を弾きキーボードの魅力に触れる。
12	キーボードのデュエット 歌唱テスト	
期末考查範囲		歌唱、器楽の2学期に習ったものの中から実技テストを行う
〔備考〕基本的に、歌う、聴く、演奏するという3つの実践を通し、音楽の楽しさをより身近なものとして楽しむ心を培う。		
1	式歌の歌唱 映画鑑賞 鍵盤楽器の2重奏	卒業式などの式で歌う歌の意識を高める。 ビートルズの「let it be」を弾きキーボードのアンサンブルを楽しむ。
2	式歌の歌唱 映画鑑賞 鍵盤楽器の2重奏	卒業式などの式で歌う歌の意識を高める。 鍵盤楽器の合奏の楽しさを味わう。
3	鍵盤楽器重奏と歌唱テスト	キーボードの楽しさを味わう。
学年末考查範囲		歌唱、器楽の3学期に習ったものの中から実技テストを行う
〔備考〕歌、楽器、鑑賞を楽しむ心を自ら培おう。		
評価の観点	内容	評価方法
関心 意欲 態度 (10)%	表現の授業に積極的に参加し関心を持つこと。 音楽史などの理解に意欲を示すこと。 教科書、配布物、筆記用具を用意し、学習に取り組む態度を示すこと。	出欠の状況 授業に臨む平素の意欲と態度
芸術的な感 受や表現の 工夫 (10)%	合奏時、合理的かつ協力的に練習を進め、合唱時には他者と協調 的練習を進める判断力をもつこと。 鑑賞時、集中して楽曲を聴き、理解しようと思ふこと。	質疑応答 協力性、協調性 授業内容の深い思考力
創造的な表 現の工夫 (40)%	楽器演奏の表現技術を向上させること。 歌唱の表現技術を向上させること。 音楽曲を自らのものとして表現しようとする努力すること。	楽器演奏の技術習得度 歌唱技術の技術習得度 暗譜力 楽曲演奏の芸術性
鑑賞の能力 (40)%	歌詞を暗譜し理解すること。 器楽の楽譜を正確に理解すること。 音楽史の知識を深めること。	読譜力 音楽史理解力 芸術的文章の表現力
()%		
〔担当者からのメッセージ〕 音楽は、表現、鑑賞、知識の総合的な力がバランスよく身につくことこそ、その芸術性を理解し楽しむことができる。豊かな感性を培うために、表現、鑑賞、知識などいろいろな側面から音楽にアプローチしてもらいたい。		

